

那覇市小学生バレーボール連盟 大会ガイドライン

1. 「3密」を回避するために

- (1) 各会場に感染症対策責任者を任命する。
- (2) 各チーム25名（選手12名、ベンチスタッフ3名、応援10名）以内とし、学校敷地内の入場者を100名程度とする。
- (3) 開会式、閉会式は行わない。
- (4) ベンチは隣り合わせにしない。
- (5) 試合終了後、器具や備品の消毒を終えてからコートインする。
- (6) 選手同士、監督同士、審判員への握手は行わない。
- (7) 選手の待機場所は、換気の良い屋外に各チームが密にならないように設置する。
- (8) 他チームとの交流や接触は、極力避ける。

2. 消毒について

- (1) チーム毎に消毒用アルコールを準備し、体育館の入退場時に手指消毒を行う。
- (2) ボールやラインズマンフラッグ、得点版など不特定多数で使用する器具は1試合ごとに消毒液とペーパータオルにて消毒を行う。
- (3) 各チームのボール等の器具は、会場に持ち込む前に消毒を行う。
- (4) セット終了後、試合終了後は、各チームでベンチの消毒を行う。
- (5) コートへの入退場は、審判の合図で行う。
- (6) トイレには、消毒液とペーパータオルを準備する。

3. クライシスマネジメントについて

- (1) 各チームに感染症対策責任者を任命する。※ベンチスタッフが兼任してもよい。
- (2) 各チームの監督は、大会参加者（選手、ベンチスタッフ、保護者）全員の健康チェックリストを、エントリースシートと一緒に各会場の競技責任者に提出する。
- (3) 学校敷地内への入場は、健康チェックリストを提出した人に限る。
- (4) 会場ではマスクを着用する。ただし、準備運動、競技中のマスク着用は強要しない。
- (5) 選手の大会参加にあたっては、保護者の参加同意書を提出させる。
- (6) 掲示物を用いて、感染症対策の啓蒙活動を行う。

4. その他

- (1) 審判用のホイッスル（長短とも）は、各チームで準備すること。（チームを跨ぐ貸し借りは認めない）
- (2) 招待の無い来賓は、お断りする。
- (3) 屋内・屋外にかかわらず、マスク着用を義務とする。マスク着用されていない方は、会場から退出いただく。
- (4) 大きな声による応援は、行わない。
- (5) 各チーム、応援者用の許可証を準備し、一目でわかるようにする。（首にかけるなど）